# 滑稽五十三駅三編巻之中

[日川より袋井へ二り十六丁]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

千くらべ　ちくらの郷より引えて、
為沢山のよし　人が田をうえ
そまつり　塩井川とて　所よりくるる時の
百つくして　格あらそるやわる人　げん
殺引　とりをまつりあげて　そこくりう
強ちかハもいぶや　引法　ぬくなん　とる
とりうら　系上りの　変沢　二人づま　氏川の　作つくり
なるこを　ぬくりや　一人の　新沢　モミ川ハ　稲

きりもぶぶりまちりる　同　ぬくくちりあぶ
子べうりおめくぶアあぶ　用ひてそこうる
ハアあるのおとぶよりぬどとあ　トハ
川のあくなげ　イヤあらぶどふりあんよりあぶ
えんぢうんぶ
稲刈　ぬくりあぶり御中をとるもんどぶぶ
新稲　おまをおぶくこれ　ぬくぶとを
ぬりと　稲でまへりあん　ぶもまけるのぶ
てこりのぶよりや　おまりへすりこん

ひろで　ア　あんごうさん　トうちよりでうとうちの
ぎーたちぐらのようえんと　ア　ア　ごうあうぞ　ぞいまく
うんえんなうさはかうしうとづうとうとれ一うう
番　ア　ア　ア

「弓」紙めがとんざ用ふ
ぬきもの取ぐめま
しやアぐうさ 紙 八くまざ紙もとめぐ中と
ぶつ中ま人 「刀」全体 ぜんてん紙がうんうんの分
ぶくくもつ紙てよおめぐ紙と出てう
ツイあまも 紙 「刀」へてあつうさのぐくなハくん文で
ぶうるそやうう

くまりうう目のあき人とかぐりて
ひくくひとあさ川のなぐまケ

十「弓」くくくくくも紙くうんるてさひいく
トくぐうるあうぐくくうくあぐくくくくのと 紙 「てくぐ」
ーぐるけ円ざくくくへ円とくくうりめうる
てくもあうまあくうう毒紙を出くくうあ中まどと
ぐぐ中とくんくくうくくあぐるぐうく「弓」くいま
くくん円とひうくハアクシャさトぐつくくぐくくくくくを出くて
くくくくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

る「イヤよめくそんなことぐらいひとりぐく
のひる「トさけやハてこしをもどんぐのんざちやのこ
うんやうよあけくそうとてこしとけるのこ
おく「ヨリや　猫よさうづさをまらうあうトひとりこ
つうぐ「ヤアこの猫あめのひとりぐくろくちまや
アぐつこ「ナニこんざこを「そこでこを猫よぐまう
ぞうぐ「ぐんざてこしぐあんイヤこのはそこの
くうまらを酔とあるぐうくこんな猫ちやと
さしゆるうこ二合のさけぐこうこ二口のひとまん

ちどふこうこうんざ「ハイ「ハイそこに二合ちうもうう
うつうくあげまこにたうこあげーあこうこ
ぐんぐんて「ナニあぐをもんぐ商人よ似合ぬるとと
さしゆるうこけ酒代いこうこひまもぬぞトたくこうり
けこうこうこうこあこんでいるみりがこふぐんこう「ワアイ
アくくゆうこうしぐかハのうこうこゆびざーとこく
ぐこうこぐんのさけうこんなあの人がちこんへはうぐ
ちこうこうせいこか「ヨヤこのこいこんざこをこうこ
リヤアまぐこ　トりひまぐこのこうこうこ
ちやこんのはとのんでちこハ「イヤおまん

さけくらんをそして新があるくあるちやうこん
大うさあのしるのあをそのまちやうさる「ゆそこの
人もあるどうまるとうもあへこうしが新のあるく
なるくさのゝ茶を碎くさのごうこうこうくさとだ
ちやをくんとのむと碎まるを沖まるくさ人をぐを
まくが茶をゆくさ沖擬ゆくんちやだうゆがくを
でなくぬそこでちやだうりなどうどあくもちや
ゆふ「チヤ」ハくくく「イヤ」そのくゆいくうぬふたんふまくさ

コリヤアくんくさちやがよくこどうくそのんぐこちだへ
くをあん沖代をくくくゆしやまを「ちやまを」れちやうこん
ちやうんもあんくをちやだうちやだうちやまるちやまうう
のんぐんちやだうちやとくくくしるのちやけをちや
くぐくくくしくおぐへいくくくぬこうんちやまぐ「チヤ」
「イヤ」こうまを月の刀へぬりのぐとおうくくそのちやう
くうおうくしやまをハテ刀をちやくをみどもが沖擬んぐ
「ま」まぐたくくるくくんはそのくしるあるの流の茶のんぐちや

うんぞ酒くらいうつぐ力くさし女郎トうぐあぬ
わハちあつとちやうんとうくそくとと
まるとてしるひうとうんでかくくヒヤアくくんくくをそて
酒でゆちやくくするコリヤハイおまんちぐのまちあつ
くくちぐいそあん酒代とおろくしあんまくトいそれて
こうくそおさか
まあとあひ
イヤちあけいのまぬうくちやく代ハ払
うあ業代あくあんでんでくちくをふいくぐ
そんなく業代とおろちあいまく業ぐ二合で六
十四文
ヤあんぐちやと二合のんぐとちうも極へ

ヤあんどくるなくくく

世くこころを案ず碑と乳が法くくてあるとやさん
すっちゃ門くくいうみアイおらゆくくトハ
ゆくくとを立出すれ可ゆくいまくくんとみんとんざ
ゆくくとの孫と出くく泊とのくあぐらをとやさ
まとぐうちゃうら孫ぐ不ぐくあとちんよぐどち
出の孫くおとぐど
とちとともあとちゃ丸殿あくらぐど
菓子まとまとちゃ人のまぐうん

[illegible]

[illegible]

三尺ばかりの　[illegible]だ

[illegible]沢田河内をあるきさぶ[illegible]の板[illegible]かり

[illegible]西方[illegible]本[illegible]生[illegible]りく日の[illegible]くく[illegible]

[illegible]ゆくもとぶくしくるる　[illegible]も[illegible]まで「コヲレく

[illegible]びの人ヲく　[illegible]

[illegible]

「イヤ[illegible]とき又[illegible]まセハ〳〵「あんのうつさ

そまぐおちつらさ　ソレき又「あつ〳〵「行と[illegible]ぶ

さーやァうくいまくしへ[illegible]食めざ　トつぶやきながら

[illegible]もあくりのそぐさつく　永川をうちぬ

こんをぐざとおりくあさ[illegible]

[illegible]ひくくさくらの枝[illegible]で

[illegible]　[illegible]るぎざ

行くあく袋井の者こ入るこ　袋井ヨリ見附へ一り半
うちの茶屋ゆぐらりく汁粉の振人おのく酒のこ
食ずまぐてゆくりくるこ酒くこ人ゴこ
ちくこ来くゆきくの後せふくまころん
さまこべ弟袋のゆくろ井のこ寄や
此ちゆくこぐまこり上方ものこ見へて振舞の布
ゆこ紙ぐーらこの紙ざーこ袋ぐらーやのこう
ぐくけーー食ねこくろ男供ひとりつまこてあこ

れのうこ紙よこりこ考モシおきんぐくいお名どーや
ゑ　ゆくこ　上ぐ下ーもも毎年ぐるものじゆがお名
ぐいくこよ此ん十ドゆうるこぐやこいのアノ方ゑ
へもちくこ　こくらまこく豆こゆこうこおや
まゑ男ぐころも人ゑこ振ふまこくまこくゆく　こ
こへあんぐうこゆこちちやちこんうおきんゑも
こぐかく　笑ゆくるどやあこふがアりやなんぐ紙
うるぐこゑる　こうちもかうこいぐこ地面のゆこ紙こ

拾ケ月ゝあくしさものゞが十二至三ゞゝでゝゝゞゞ
うゑてゝゝゝマアひゝのちゝゝんあゝ斤ゝんでゝゝ分
武朱茶屋が三人分ゝ羅紗者ゞ一くゝゞ又ゝ分を
して一ケくでもゝゝゞその代ゞ四百ゞかゝゞゞの
ゝゝゝハテノヨゝもゝ屋ゝゝへいゝゞゝゝろ
ゝんくゝゝゝゝんのゝゝちゝゝゝ酒一瓶
者一ケゝゞくゞ肉の酒ゞのめゝゝゝゝゝゝゝゝ
せゝゝゝハアゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝそゝてゝゝゝものゝゝ酒い出ゝゝせんゝゝの
ゝゝゝゝゝゝ酒でゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
酒でゝゝのゝ極ゝとゝゝくゞゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

そこらしが能の者く人一色のそなーでそらつく
のそうちが至三うへこそんなこそいおりやすんこそいな
「ゑくてさそんこそうちーア尾よ出アよかごの
地のでそこそあどうつさものごナニ強くこそいいや
しあう「ハアそんあうおまんのおなどこそいの屋どや
いな「ヲイ大本やさ大本屋の作どやいな「ものの
きけよ「ハーしそりや杉屋どやそうな大本屋ア
そんなおやなハ高いもせぬものコリやおまんこそく

えんどやく「ハテあそこまもあうやセナアわハ
「そさうこうどゃんくゆておりやア強さんお
めくこんさあども女房買よいうこそもあくて
人のそなーとこくかどうく出そうどんだうう形
学のこうんゆすのくはこそどご「だらだう色
おまどこうくいう強くものうきうもコレよ久く形
つれくいうこどやア強くうゆ「ゑくあの大屋さんのあ
ひの時うて強よつこもこそーんあうやど武蔵

のはくあをおのうとうろうのさうやでひき
そのめとりけでのんざ附の緒をこんなおいら
がきうくおいて引そ紙はくぜか引そなりんう
きうそのときあめくさんまの骨を喰へそ俵を
又六だへ丸呑ふーとどやア絵ろ引だうアへうあが
田まちであまざけとうくをやけどーと
ことアいそどる小引そをまとうりうあめくたてよでて
紙入がおちくあると城のうそをはくんざどやア

強くろ業さーる上下ハーイヤそやおまんがさい
とんとやーいる宗どやこのる引ーやーへでも
あーふでもうつちやけくおそやアがまよくつぐ
ちべとちやべるやうぐ上下ハアこりやはりんるふべよ
あーふくまいろふトきもとうぐーそくこあい引ーま
くーいうあうこ一だんをこるあさまてこハーく
うあそうとうちうちうち大ぐの坂と
こてそやも刀有のーやこいる
小アくそびまてこうこでもものろふろ上下おまのうち上下ア

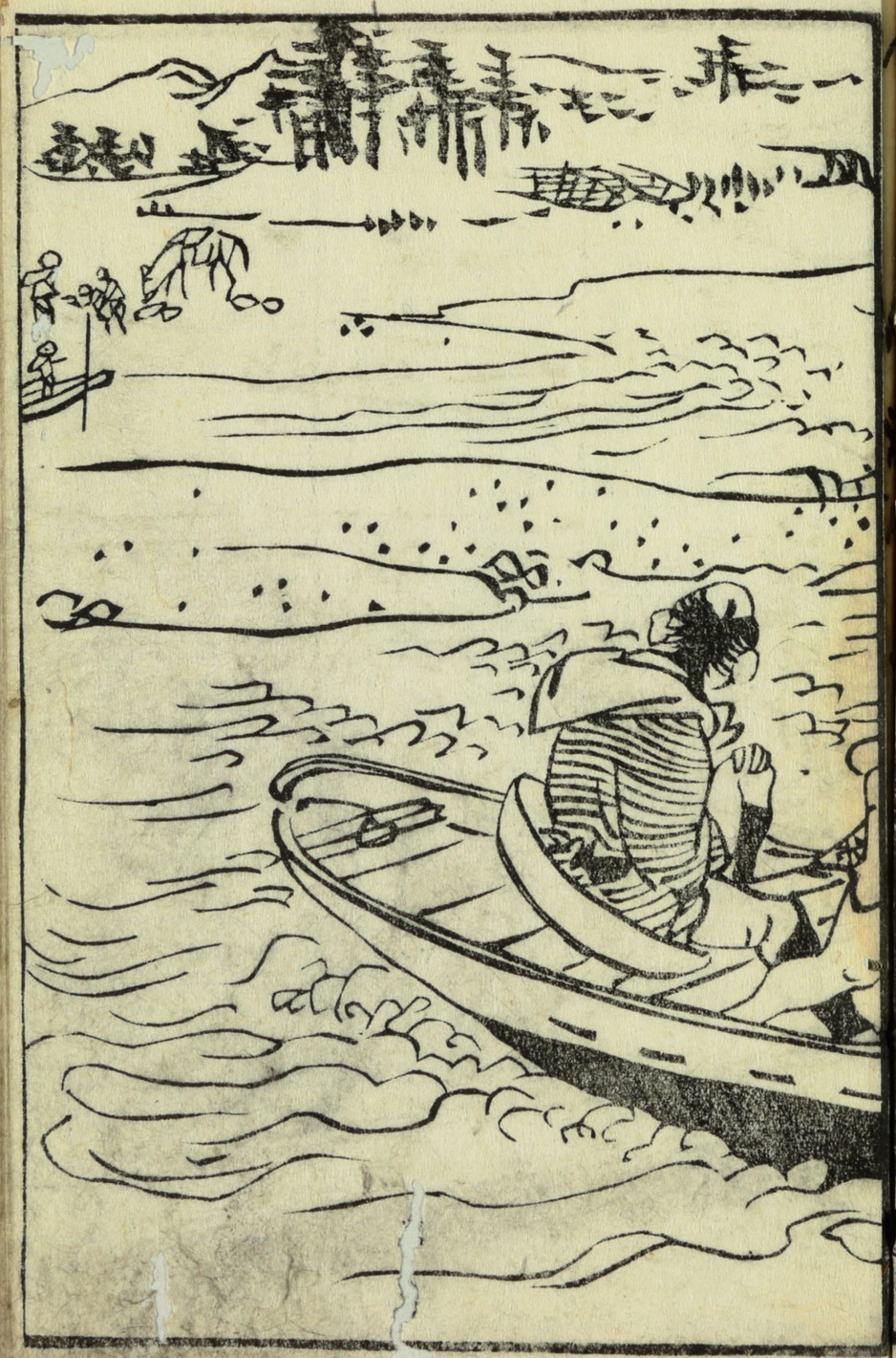
見附ヨリ浜松へ四リ七丁

いつもちやんませぬうつもいぬさおまごんで
ちやうくうちやんちやくいうぞん サアのうちあつ
ちやうくうちやんのうだへ トちやのそうぞん
ちやうくうちやのうけちやくいちやけぐちやくわハ
ちやうくゆうちやうゆくちやうじいんぐんたうこ
ちやうこ天狗へのちやがあるじやア強へう アイそう
うくあへあぐうちやうとちやう星だけもちうく
おぐうんかこ引いとうぬうの イこうちうでお
ちうよ トちやうちやうちうちうのうへ
ハちやうくちやうもうも川ぐうとうちわ

ちうあ仮さうのいちやう
松のちやちやうく
のまんぐうくうしゆうまし
おぐうう
どうよいうぐとまうくいうこ
あんぐあどんよらひ法ぐうん
四流法ぐあるううあちびうぐうあぐんとうて
よヲ アイくうこのぐうよ来ぐへドウくわ この駅
ちぐうちうぐ あんるおまぐあぐうわ ぐあうて

のうぐんぐよん　ぐんるアあるあ
「ゑどゝゝ本町　ハアゑゝとこゞゝアコゝゝも若い
おゝのさゑまつゝくゝいさあゝうゝぐそのホ町とゝく
とゝゝゝゝゝゝんでもばるゑんあるゝん人だゝしゝゝ
ゞアのゝゝ「ヲ」そゝまゝよおいゝゝぐ内も歳門七分十人
だゝゝりのゝゝゝゝゝゝぐ　ゝりやアゝゝそゝるおゝうれが
飯とゝゝも大ゝのゝんでゝゝゝんアノおゝどゝゝ茶ぐ
いゝゝゝゝゝまゝも「マ」アまゝ弐合よんとゝゝゝで

まゝ合ゝゝゝのよ　ゝりやいゝゝよゝ　「ゝ」ゝゝゝゝゝゝ　百
ゝゝ　ハアホ町のぐんゑぐ茶七百く買ゝゝるゝゝ
ぐゝ　「ナ」ニとんぐゝゝを車ぐゝぐゝゝゝゝゝぐゝゝ
ゝゝいゝゝゝゝゝゝゝん　「ナ」ニまゝゑふゝアゝゝゝと二一
天紙の八ぐゝゝ二ゑ十　二八十六ゝゝゝゝゝゝゝゝ
て口ゑのサぐ茶ゝゝゝゝとアゝまゞゝゝんのゝゝゝ
三斗八木七合ゑタゝゝゝゝゝゝゝ　ハアゝんぐ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ



[illegible]

[illegible]

[illegible]

まゝと[糸]ゝ[ゝ]ゝ飯もくへせるゝ[ゝ]あげやせつぐ
「コレ」墓へ行とくへせる[ゝ]ハイ南無の名号墓前
でゝあげませう[う]「そまつ」平らそれだらうぎやう
あるゝ[ゝ]「ハイ」そまつ[つ]ゝけゝるゝのようなもの
とあゝらひまして「ゝ」ゝるゝがとゝぬさんまゝく
のゝゝあゝゝ[ゝ]マヲかゝくしておくゞいてそのゝ
ゝり百ケ日ハちとゝゝうあつせん「コ」ハるゝ
とおつしやるゝゝ時よりまゝゝ[ゝ]イヤモウ

ゝゝ[ゝ]ゝ松ゝおもしのおかゝあゝ来ゝゝ

濱去ヨリ

舞坂二月半十二丁

さゝくゝとおゆゝ法まゝく猫衣
ふゝき法ゝらまゝ一ゝゝまゝの風
ゝゝ[ゝ]ゝ[ゝ]「サヲ」くおつゝゝぞつよ「おゝ」
おゞんまゝゝゝ「おんお茶とお湯ゞつよ「イヤ」
そんゝゝゝ是ハよゞまゝゝせゝ「そんゝゝ」
おふゝゝおゝゝゝんまゝ「湯濯」切ハゞゝゞ

孫はさんまアさんゆ後へいまくしのタ
とりの男ごよめ人さまこの長こちイおいで
ゑりまし　トもぐよゆごのへあんゆをるけ内ゑりも
ゼ　ハイ　夜習へよりあごりまもゆ　ありゆうじと
あさんまもあう　孫　ヲイトもんでもんイヤさもん
目があるの　ハイ　仕合とうこ仕いらくさへまん
十年ぞうもあるる風眠もゆもひおり
まして夜眠ゆもにうへあつ法ぐてもあん

ありまもぐそまうこうちイいくとりゆう
ぎとしてゆうありと仕あごたりのゆうぐよく
ありまし　孫　ひさしぶりぐ月があいさうえな
ちうあ人ぞりごうよ　ハ　あさゆうでおごりまん　孫
ハ人ゑんあうもぞへぶんりゆうぢとちるさん走り
さ人ちりやアハ人るすんぐ時さ小八湯へどあごふ八
ぎり　ハ　ていて湯ごあんまりあつくて鍛ぐまどん
あり門のようあうこ　女　ハイ　ぜんをあげゆ　せう

トてもうしあまどもりやくもせ
やがくぜんもきこゆるゆもいろくあまどもりやくもせ
まさんやうしてくんきイヤ時こ今ゆどのうう丸
まびこの門のうきあ今ろ丸ぬが病人と丸人て丸
ぐーてのるが多くうくくんちろものざあまま
フりヤア乳遠でおざるいのーゆ三ちぐでもでく
ゆ稲くの作イヤきくみさん今こ稲んぶろうきり
まうきいトけ内ろうてのうさうちくくチヤレとあ飛フレおみさん
あのおとうこ百まんべんそうぐまる
あのさちぐびどのいこの下女でおざるぐ四そいも

ぐのろとしとつけうまきこうきあぐひといゆきさ
ちちゆきでおの女とふろうちきんちうしてとう
ぐびうけ半おうまうしぐとくぐ四そいーもそ
ふ枚ぐろくそまうろうぬようろくおさおりき
ーとあとぞうーうきあぐ西のまくーろう多
とうくぐ祝ぐちぐび鼠とうろうぬうゆ目ざ
そふきるとぬていーもそ又よんきうーあの女代
門いまるとそ晩ううきあのゆうきいぐとう

はつくあう女が又うこと有のようにたちぐしはよ
あつさりんごんでそこまでであんあよ毎晩百万ぐんと
そうあつさまこと トはそくたくさんはかくちい
やあるまでもしかいあしびやうりの
可ぐんご函夏がとつはんこと家のうちくそゆく
まへが出るうの 蛙 ぐんう 孫 「うそをけぐぜ 孫 ナニ
うそどやアあこと人ぐんこの屋孫のうへよ去
ろんりのがこんくわうのとろさりのがおこうまも
やアアコリやとんごあくと食と合てこ 孫 そまり

そのうこと人がうびとくろうこと時の新ろいろとあい
月まるとそうりとあつくまる海とたしーー歯て
とこひ去ぐつくそまこいくくしてあるよある良孫
であつこ可コリやアどこで 孫 ちうもソレおまいのう
しろの去んさんぐ 小 「ヤアコリやたまーあどうそ
そぐがぞくくとるよまぐ 孫 あやあくちよぐく
あがあり出ーこんあこあの 孫 うんやなどいろう
と出そのるこんご 小 「イヤコレあんまどのりみけつ

てひとん「アノ又」ゝゝさと紙のおとゞで一ぢへ乳ぐ汁
いまるようぢぐ「おんみ」てもいまゝゝへゆぢと
とうさ「ヨ」く往病みお前ぢ八ゝゝ「ゆふ」ちゝへう
わハちどゝさ「おゝうゝゆふ孫ゝよ」「ヨ」ゆうなうた
さぢんよく トあんまいとあぢひして立てゆく 廿内女お
とすちゝゝをとうゝくゆゝみうゝとゝいうゝ
ちゝちゝまもひぢもいてゝいてゝそ只孫「ヨ」いうそのゆ小八今
まゝゝと孫入もやゝぢ
ゝゝちふぢやアお孫へう「十二」とんぢゝとをいふいまの
ゝゝおゝぢどう歩ゝちぐあるうゝるうんぢ孫「ヨ」文ゝ

てのゆちゝあんゝうぢぢびいろいちうりぢ人ぐちく
あへうゝうゝちゝゝのゝうふゝうちぢ ト月ぢうりぢちく
嵐がてんぢやうと「チウ」ゝく「ヨ」く孫ぢゝまぢぐゝう
ゝやアぢうく小坂と ちうけゝ「その孫ぢゝめぐ
ゝゝゝんあゝうゝさうゝゝ小坂と ちゝくても
ゝくてゝるゝヤアあんぢうやうゝうゝゆうのぐ是ゝ
ちうゝ「あんぢゝくれゝ「三ヤアン」「コノちくゝゆうあ
シウく 百万べんの「チヤ」ゝのゝゝあゝる「ぢうゝく

ふりもおりとまつひ「まつひのもをやつん（チヤン）
あとゝぐるこゝ
ふりもとまぐあうちへぐりこゝ「どうさ浦氏さんやこゝ
こゝさ八ぐあのそぐくうさしのぐこゝ
いこゝてゆるう（浦）「あんまつぐくつけこゝちこゝう
ぐあるもふべんぐするよあぐわ「あぐひこゝうんぐ
ゐ見こあつこ（浦）「あんとおまひこゝいつまよ入
いうふう（浦）「あまつ戸とあけ
こゝぐあこゝくこゝちう（浦）「オア浦氏さん（浦）「イヤよめこ
くとこゝうじとあけ
こゝく（浦）「あうぐ出るもんざ



ちこゝのぐちこゝふこゝく（浦）「ヤアどのこゝくこゝどよ
ゐ八こゝあとこゝうこゝこゝ
こゝ所あまこ氏足（浦）「あまこゝわ「こゝのもぐ
ぐてあこゝアそこゝく赤
トふるくあぐこゝこゝのゐ足こゝくありあぐこゝのこゝを
こゝとのぐこゝこゝあもこゝいうこゝぐこゝくこゝこゝ
「浦氏さんどふこゝ」ヲイ浦氏さんヤアイトけさうぐこ
こゝのくけのぐこゝのこゝのこゝと足こゝくこゝあぐこゝ
ゐ「足こゝ浦氏こゝ手こゝこゝうこゝこゝ「ヤ」レどふる
さんゐこゝこゝ（浦）「イヤゐべんこゝいうこゝあぐあこゝこゝよ（ゆう）
こゝこゝいこゝぐあこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝこゝ

てんしゃうさんさく　「イヤあまへ繪ばかりあそびまん
ゆきをかく
コリヤ〳〵おさんやへ〳〵　日ぐらまつこと申ぞ
りのとるぜとうこそめそ〳〵さうさうあがり
ばうつく〳〵さらさらうつ〳〵ちもあへ女ごゝろざま
〳〵コリヤアおさのぐ〳〵さあでおざりまセ　「ナニサ
ろちゝアこゝへとゝふこゝアまへ〳〵絵へすのぐるぜ
う今炎中の居ぐろうぐるうこそある　「ハイ
おやちゝあさんま〳〵　トうつく　「弓いまく〳〵大

ゆうくまへとおりいの紙よせんぐくの
ぞめどんの紙がちくくおりへを
そでめくくこくいと使しに仏おちつきてくこと
一ちいの箱とむとぞよかやくやこの紙の箱
紙毎ようくいけくいさ神さ紙のるのすぐ
のおとシャンく まごの「ぞんよぞぐぐナア 嘉

ようおりてくろく戸でおくぐおるよう三月
「ヒインく うくぐいさ森「コトとつくおく
とくくよりよ長がけく
そくるトハもくりよあくくるまべ歩てうくそくりせんも出
いくぐくくくて立出けしゆゆ和の紙をおくくて
桜平のきんのゆ紙とくくくよ
まりくせくくん般のよるまぐく
ちくくまくた中一の今とうくちくそぐ籠系の名紙
あて「ヲヤ嘆くくるぞさりちがあるラットぞあさ
んひくくんるトたぐくくせくくの「ヤアこくくん
ぞくりちをつまんぐくりくん

「ゴリヤヤガさうちのうんだんでおざらん」「イヤおら
よあくこうらくこのぞあつてどうさうぞうん」「いく
つまんぜまもヲ」「ハ」三つだうえるトざるとそこへ
ぐうとび「ヲ」「イ」弥次さんく「ゑ」「おんざうめへおあう
ちうとくまろ「ゑ」「ごうぐうようめへ」「ド」ひとつ「か」「イヤ
そまうほらうじろトよのひくへのせくこしあぐるとゑ
「ハ」「ハ」「へまくしんこうらの数ひこるひこ戸ざそよ
るトうこうそこうよ
そくとあぐめく

あんさロあさぐうまも出そのうへ
こうのとあうせーとびのあくこよ
ゑどまく其沿ぜ井むうとおこ幕坂の沢
あうこる

舞坂より荒井へ海上一りこまうり荒井

まぐこ宮の海上合ぶようちのうこる
げも弦中のこうんどへ紅中おるひくの鞍
後ろ鞍ふうり合ろひのこうひのこうお奥どゆく
ぜとこ松くるうぐこうく楽合の人くも

[illegible]ぐいめいく〜折ぐり[illegible]ふ付とゆげて[illegible]
とそろそあそ又この服糸工足とまて只すく
ねんとして力ちもあり　この糸合のうちエとしのころ
[illegible]ぐいうもあぐさうもの[illegible]ぐ十ぐらうのしげむしやりと
しゑえんい糸ぐまろ人〜のひぐのもとそろがあそそろ
もちあげもきりこりものをさぐし糸りしむりるよものそそそ糸コウ
糸ぐらげそぐのりをさぐりまちもぐ糸ぐ糸ぐのもとぐ
そそそあんざそりあしと人の彼とさぐつて
あんとそる　ハイ　ゆるさまーこへ　ハタちと
ぐそあくあらしさまぐぐぐろろ　おめくあく

まつまものうあるあらことろ糸ぐ糸ぐいと
はま糸の井ぐとろそ人もやくそぐ糸ぐあんなんざ
たそと入りきをろり　イレ　やそんなものじゃアお
ざうあんは　イヤそんなう　イレニヤさ
つ糸ぐそとまよくぐざる　糸　ぐぐぐぐとよんものの
なう人のい糸ありそしてあるうちそそうアさぐ
アまうそそうア糸へのう合　サアあくぐ足人ぬて
あそんはあうぐものぐ足人あんぐんまちあ　イ

もんよくござる「ハテ」くでいまを極くうくがはくや
せん「あんぢ」「ハア」そんをくひまとぐいくんなびつくり
くろくりまをる「ハ」くくおめくがものとをくくと
とくくぐまぐびつくりまをるものご「ふくぐはくや
せん「あんぢ」「アイ」「ぢ」ぐ一「ぢ」ふくまをりやさ「ヤ」くくとん
ごくとをいふくごくぐアくをんのをびご「あんぢ」「ふんご
ごとくくひくくと「ぢ」ぐごくくん「ヤ」「ア」くくと「イ」「ヤ」
くくをもとんごまをとをくくくくびとマア

よをくふくとおもつくく「ハ」「ハ」つくくくくのつくんくくち
あいくあくトくくちくんげんせんちくん「ヤ」アこの板ごのおん
とごくとまんくくあくんくりやくくちのをくいくく
ヨくくりやくくくのつくんいくくあけ若のをくくん
くんごくんくりやまあくんごく人とのくくトくくちくくんを
又くくくくくくくくくちくくくくくのあをちあけ若をくくくのけ
をくんをくんのくくもくくつくくくくくくくくくくくくる
ゴ「コ」ケくくおめくくんごくくくくくをくくくくくくくくくくくく

て　ちやうしのおせん　イヤニヤさてそのいたうやさ
ちやうしハアさぬきのこんぴらさまへいくりんざ
どうぢやうの　ぢやうしやうまつさてちやぐいようのがざざうまんう
たでこのあびとちやとをとこひあびつうひり
るつくまつくいくりんざうこりやア
ちやうぐちやうだいのこひでざるいイヤあん
がちやちやがーやうだいのこ絵ざちやくあびとも
つくのる人とどふてちやうしまるまざ

コレ　ぐどんなぜこんまるものとあ絵ようのせこ
ハアコちらざちやくこちやあの人があびと絵
てのこちやうちませぬ　コレおやぢどんあんのろ
のといこどもこあせいよびぜこやおちやて
ちやこんのせん　イヤニヤやらざあうちやあ　あうざア
ちやちやあざるめようこんぶちうんで　ちやうぐどのざ
サこちやるのうちやくこ　ちやうこんこうふま
よぶーぐざざうい　コレちやうこのおやぢのいふそこ

ト申ハ[illegible]のおやぢのむすめ[illegible]
[illegible]のあるあがみ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うりてあり　とやちやうの人

滑稽本十三編三篇巻之中終

三人十九人目